

自動車100年に一度の大変革を起こすと言われている “CASE”の現在地(2024)

2023年に引き続き、あれから1年経ってCASEがどこまで進捗したかを確認する



自動運転車の市場投入状況@2023

レベル3以上ははまだ、超上級車に限定され、かつ高速道路上の40mph以下に限定されている

レベル2ハンズオフは確実に車種、台数とも増えてきている

テスラは2021年3月までに、米カリフォルニア州の車両管理局(DMV)に対し、FSDには現時点で自動運転の能力がない旨を説明したことが明らかになった。ADASであることを改めて認めた格好だ。

なお、マスク氏のビッグマウスに対し、テスラはFSDを「より高度なドライバー支援機能のスイート」としており、各機能がADASであることを明言している。

「オートパイロット」や「Full Self-Driving」といった名称とマスク氏のビッグマウス、またアップデートによって将来的に自動運転機能を提供するという戦略が消費者の誤認を招いているのは間違いない。



Benz EQS

- DRIVE PILOTは、高速道路の該当区間や交通渋滞時に、最高時速40マイル(約64キロ)の範囲内で自動運転する
- ドライバーはハンドルから手をはなし、映画を観たり本を読んだりといったことができる
- あくまでもシステムが作動するのは、交通渋滞などの特定時のみであり、渋滞が無く道路がスムーズに動いている際には、システムが作動しないようになっている



レベル0
運転自動化なし

レベル1
運転支援

レベル2
運転支援
ハンズオフ

レベル3
条件付
運転自動化
アイズオフ

レベル4
高度
運転自動化
ブレーンオフ

レベル5
完全
運転自動化



運転支援(ADAS)

自動運転(AD)

ADAS : Advanced Driver Assistance Systems

自動運転車の事故

NHTSA(米国運輸省道路交通安全局)ADS,ADAS事故データ(最新)

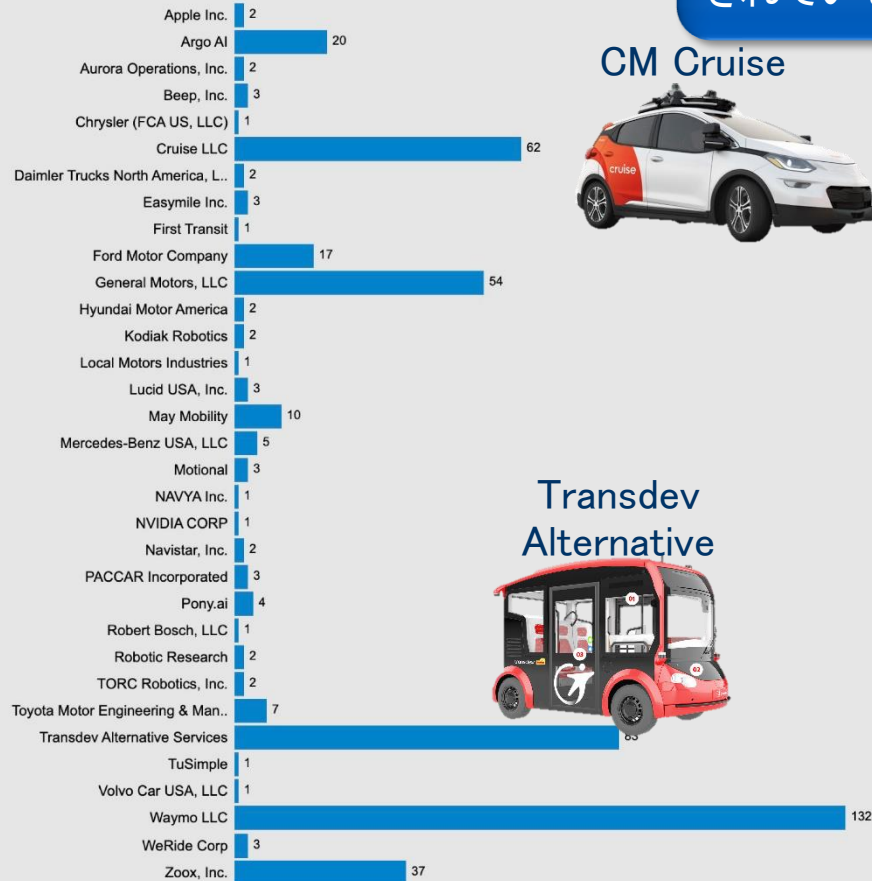
ADS:メーカー別では、**グーグル系列のWaymoが132件で最多**となり、交通事業者の仏Transdevの自動運転サービス部門Transdev Alternative Servicesが83件、Cruise62件、GM54件、Zoox37件と続いている。

ADAS:メーカー別では、EV(電気自動車)大手**テスラが799件と抜きん出た**。ホンダ108件、スバル23件、トヨタ17件、BMW8件と続く。

ADS(Level 3~5)装着車

レベル3以上の実証実験で、かなりの事故が報告されている

ADS Crashes by Reporting Entity



CM Cruise



Transdev Alternative



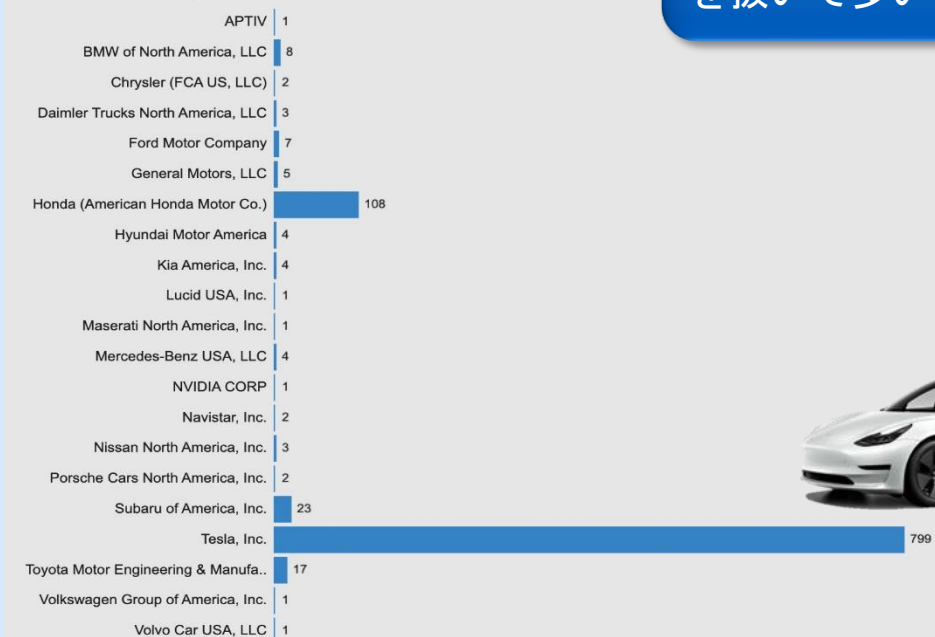
Google Waymo



ADAS(Level 2)装着車

レベル2の市場実績では、**テスラの事故件数が群を抜いて多い**

Level 2 ADAS Crashes by Reporting Entity



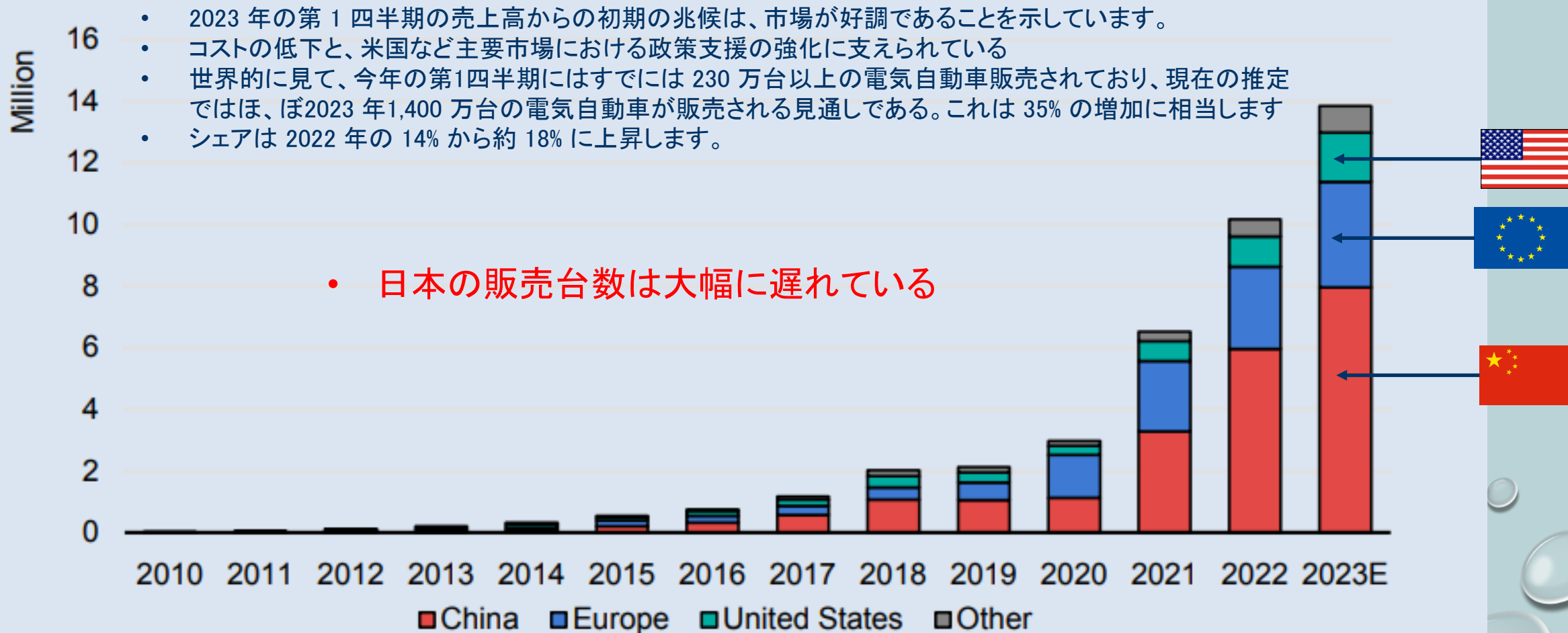
NHTSAの調査終了(2023.8)

アン・カールソン局長代行は先週、オートパイロットの調査は近く結論に達するとロイターに述べていた。「人間が技術を過信する」ことに留意したシステムが必要だと述べていた。

出典:NHTSA

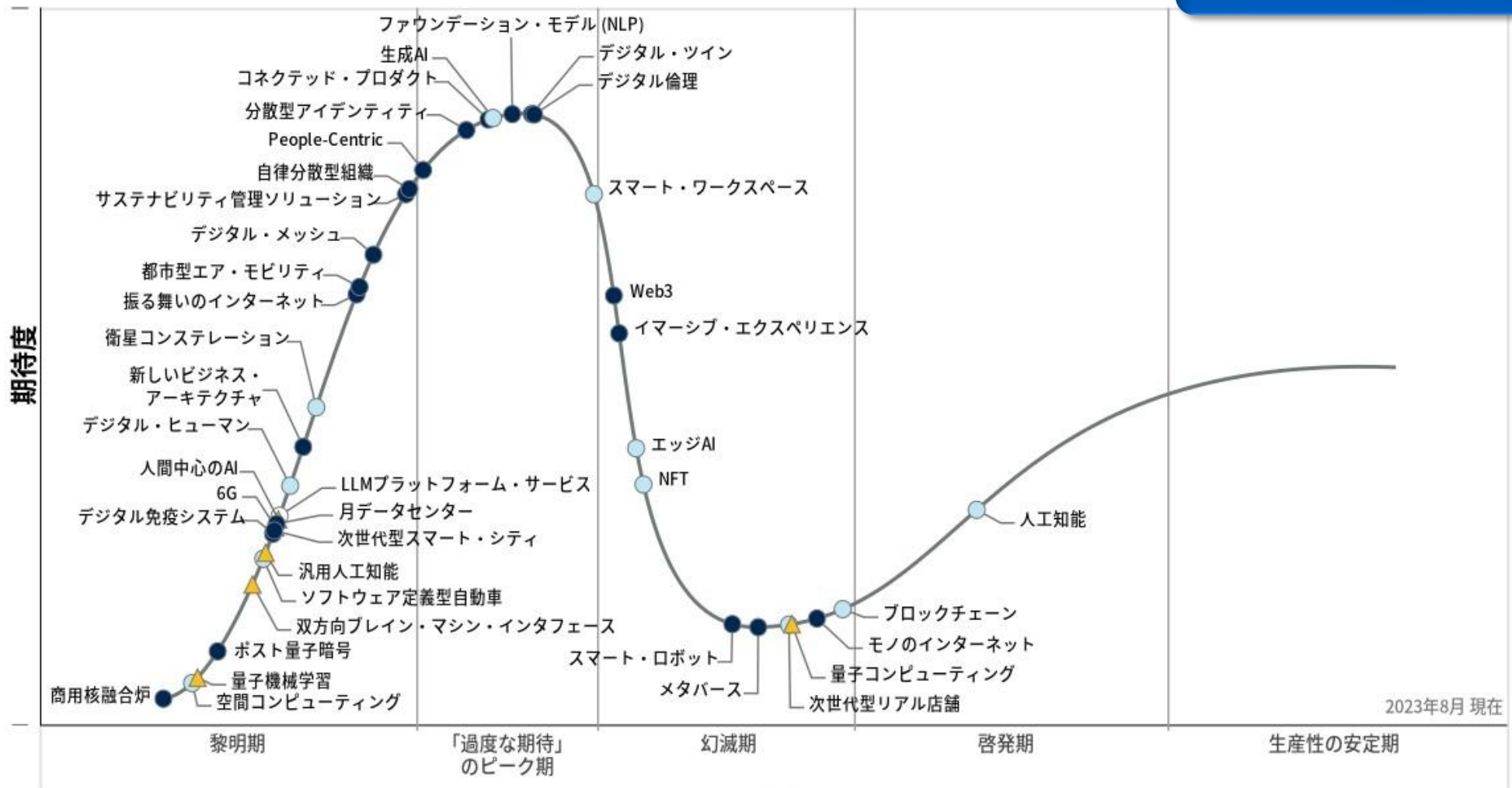
- 2022年に予測されたとおりに BEV車の販売は増加している
- 中国の台数増が特に顕著

Electric car sales, 2010-2023



BEVの販売はハイプサイクルの幻滅期に入ったという指摘もある

日本における未来志向型インフラ・テクノロジーのハイプ・サイクル：2023年



主流の採用までに要する年数: ○ 2年未満 ● 2~5年 ● 5~10年 ▲ 10年以上 ⊗ 安定期に達する前に陳腐化